

令和8年2月

屋久島宮之浦港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

この委員会では、屋久島宮之浦港の火ノ上山ふ頭1号岸壁への5万GT級客船の入出港および係留の安全性について調査検討し、必要な航行安全対策を取りまとめた。

本検討は、対象水域の整備が行われ、対象船舶の喫水の10%以上の余裕水深が確保された状態を前提として行った。

入出港の安全性については、着離岸操船に必要な制御力、岸壁の防舷材強度に起因する許容接岸速度に関する基礎検討を行い、ファストタイム操船シミュレーションにより船体に作用する風圧力等の外力影響を確認したうえで、ビジュアル操船シミュレータ検証実験により入出港操船および着離岸操船における安全性を評価し、対象船舶の入出港条件等を検討した。検討の過程では港外における潮流が入出港操船に影響することが推測されたことから、ビジュアル操船シミュレータ検証実験の外力影響として設定した。

係留中の安全性については、OCIMFの計算手法によって検討した結果から係船柱強度と係留力の関係を確認し、安全に係留可能な条件を検討した。

2 調査等概要

- (1) 客船受入れ計画
- (2) 航行環境
- (3) 基礎検討
- (4) 入出港時の安全性検討
- (5) 係留時の安全性検討
- (6) 航行安全対策の検討